

データでみるJAのイメージ



「食料・農業・JAに関するアンケート調査(2020年度)」より

vol.2



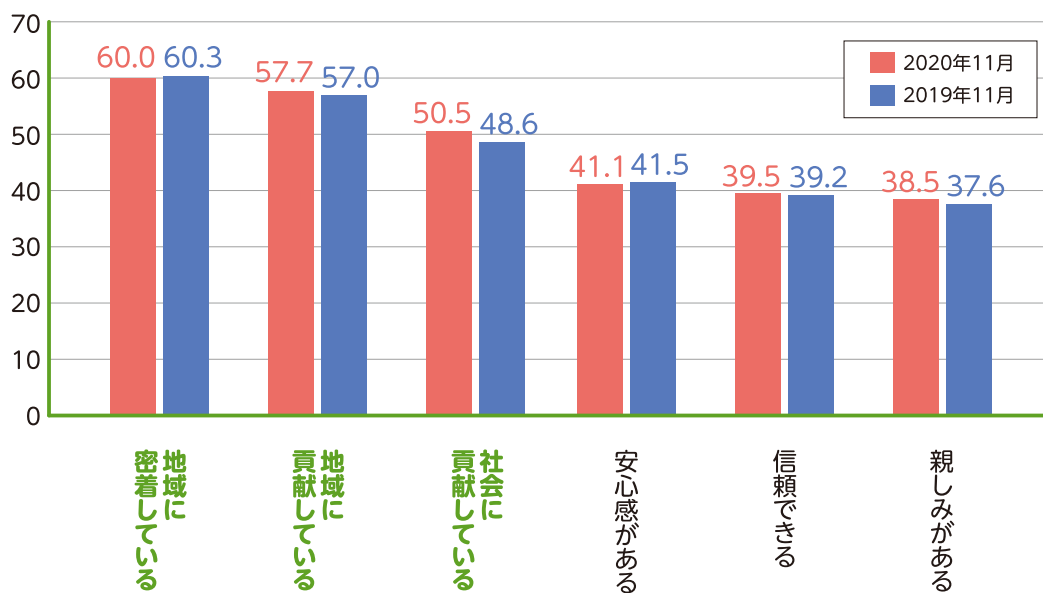
JAのイメージは「①地域に密着」「②地域に貢献」「③社会に貢献」

「食料・農業・JAに関するアンケート調査(2020年度)」では、JAに対するイメージ(肯定的意見)のトップ3は「地域に密着」「地域に貢献」「社会に貢献」となりました。

JAに対するイメージ

JA(農協)に対するイメージとして、それぞれの項目についての考えを全国各地の生活者に質問したところ、「地域に密着している」と回答した人の割合が60.0%とトップになりました。次いで「地域に貢献してい

る」と回答した人の割合が57.7%、「社会に貢献している」と回答した人の割合が50.5%となり、肯定的イメージのトップ3の項目がいずれも回答した人の半数を上回りました。



それぞれの項目について前回(2019年)のアンケート結果と比較すると、「地域に密着」が前回60.3%→今回60.0%、「地域に貢献」が同57.0%→57.7%、「社会に貢

献」が同48.6%→50.5%と、トップ3の順位は変わらず肯定的なイメージがおおむね定着あるいは改善していることが分かります。

JA全中は2011年から、食料・農業・JAに関する生活者の意識や行動についてアンケート調査を行っています。定点観測調査により、結果を比較することで、生活者の傾向を把握して事業に生かしていくことを目的としています。対象となるのは、日本全国の地域、性別、年代の異なる2,500人で、今回の調査期間は2020年11月27日から2020年12月3日の6日間です。



耕そう、大地と地域の未来。